

**「持続可能な多世代共創社会のデザイン」
研究開発領域**

提案書作成の留意点

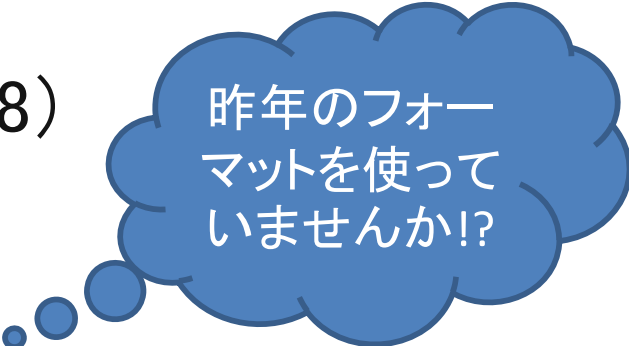
平成28年度 募集説明会



科学技術振興機構

全体的な留意事項

- 領域目標の達成に資する提案を求めています。
- 特に、募集要項の以下をよく読んでから作成してください。
 - ✓ 募集・選考にあたって本領域が求めるもの (p.7-12)
 - ✓ 研究開発領域の目標 (p.14)
 - ✓ 選考にあたっての主な評価項目 (p.18)
 - ✓ 提案書の記載要領 (p.66-98)
- 一般枠と俯瞰・横断枠では提案書が異なります。
- 応募は、e-Radにより行っていただきます (p.50-65)。



昨年のフォーマットを使っていませんか!?

選考スケジュール

募集開始	<u>4月12日(火)</u>
募集説明会	<u>4月19日(火)東京、5月9日(月)京都</u>
【一次選考】提案書受付期限	<u>5月24日(火)正午 <厳守></u>
【一次選考】結果の通知	7月初旬(予定)
【二次選考】提案書受付期限	7月中旬(予定)
【二次選考】書類選考の結果通知	面接選考会の1週間前までに連絡(予定)
【二次選考】面接選考会	<u>9月7日(水)</u>
面談(採択条件の説明)	9月13日(火)、9月14日(水)
選考結果の通知・発表	9月中(予定)
研究開発の開始	10月1日(土)(予定)

- 下線を付した日付は確定していますが、他の日程は今後変更となることもあります。

主な評価項目 (p.18)

枠によって
違います！

一般枠

- ① 領域のコンセプトを踏まえている：多世代共創
- ② 領域のコンセプトを踏まえている：持続可能な地域のデザイン
- ③ 研究開発として何を明らかにしようとしているかが明確である
- ④ プロジェクト終了後も何らかの形で活動や成果が社会に根着くことが期待できる：社会実装への展開
- ⑤ 提案を育む価値・可能性がある

俯瞰・横断枠

- ① 領域の成果創出・目標達成に貢献しうるテーマ設定になっている
あるいは、研究開発プロジェクトの成果の統合が期待できる
- ② 領域のコンセプトを踏まえている：多世代共創
- ③ 領域のコンセプトを踏まえている：持続可能な地域のデザイン
- ④ 研究開発として何を明らかにしようとしているかが明確である
- ⑤ 領域マネジメントグループとの対話・協働が期待できる

【一次選考用】表紙 (p.67、69)

- 一般枠と俯瞰横断枠は提案書が異なります。
- 表紙はA4・1ページです。
- 「課題名」は大切です。
 - ✓ 何をめざす提案なのかを～25字程度で端的に表現してください。
 - ✓ 副題はつけないでください。
- 領域主催ワークショップ参加者は、「参加状況」の欄に○を付記してください。
 - ✓ 平成28年3月21日(宮城県仙台市)
 - ✓ 平成28年4月2日(愛知県名古屋市)
- 「総研究開発費」では、全期間の総額を記載してください。
 - ✓ 一般枠 : 上限 90,000千円
 - ✓ 俯瞰・横断枠 : 上限 10,000千円

名は体を表す！

※今後の参考とさせていただきます。

直接経費のみ！

【一次選考用】提案の概要 (p.68、70)

- 全体でA4・2枚以内で簡潔に記載してください。
 - ✓ 項目1-3は必須です。
 - ✓ 項目4は任意です。
- 一般枠の「対象とする地域」では、具体的な地域名を記載するとともに、分類を選択してください。

対象地域	〇〇県〇〇市、〇〇県〇〇市〇〇地区		
	<input type="checkbox"/> 大都市近郊	<input type="checkbox"/> 地方中小都市	<input checked="" type="checkbox"/> 東日本大震災被災地
	<input checked="" type="checkbox"/> 都市-地方連携	<input type="checkbox"/> その他	

- 「キーワード」は、独自に設定してください。
 - ✓ 単語にしてください。

複数選択可。対象とする地域やテーマを端的に表すものを選択！

【一次選考用_一般枠】 提案の概要 (p.68)

1. 解決すべき都市・地域の具体的な問題とその原因、ボトルネック

- 何が問題ですか？
- これまでの取り組みではなぜ解決できないのですか？

○: ▲▲が問題
×: ◆◆が必要

(参考:p.74)

✓ これまでの類似の取り組みや政策・施策、研究等では、なぜ問題解決できないのか

2. 本提案における持続可能な都市・地域のビジョン

- 最終的に、どのような都市・地域を実現したいのですか？

3. ビジョンを実現するためのプロセスと体制、そこにおける多世代共創

- 現状からビジョン実現までのストーリーを説明してください。
 - ✓ 3年間ではどこまで達成しようとしているのですか？
 - ✓ 「成果」が「誰」に「どのような意識や行動変化」を促すのですか？
 - ✓ 本提案における多世代共創とはどのようなものですか？

【一次選考用_俯瞰・横断枠】提案の概要 (p.70)

1. 背景及び本提案における持続可能性と多世代共創

提案に至った背景を簡潔に記載してください。

- 本提案における持続可能性及び多世代共創はどのようなものですか？
- 本提案は、領域にとってどのような意義がありますか？
 - ✓ 領域の成果創出、目標達成に貢献
 - ✓ 領域内のプロジェクト成果の統合 など

2. リサーチ・クエスチョン及び達成目標

- 本提案で何を明らかにしようとしているのですか？
 - ✓ 冒頭に箇条書き・疑問文で
- プロジェクトの具体的な達成目標は何ですか？

3. プロセスと体制

- どのようなアプローチや体制で実施するのかを説明してください。

【一次選考用】 提案の概要 (p.68、70)

4. アピールポイント【任意】

- 本提案の新規性(既存の取り組みや類似の研究との違い)
- 問題に取り組む実践家と研究者とが共に提案を育んでいる場合
- 国際的な展開の可能性 など

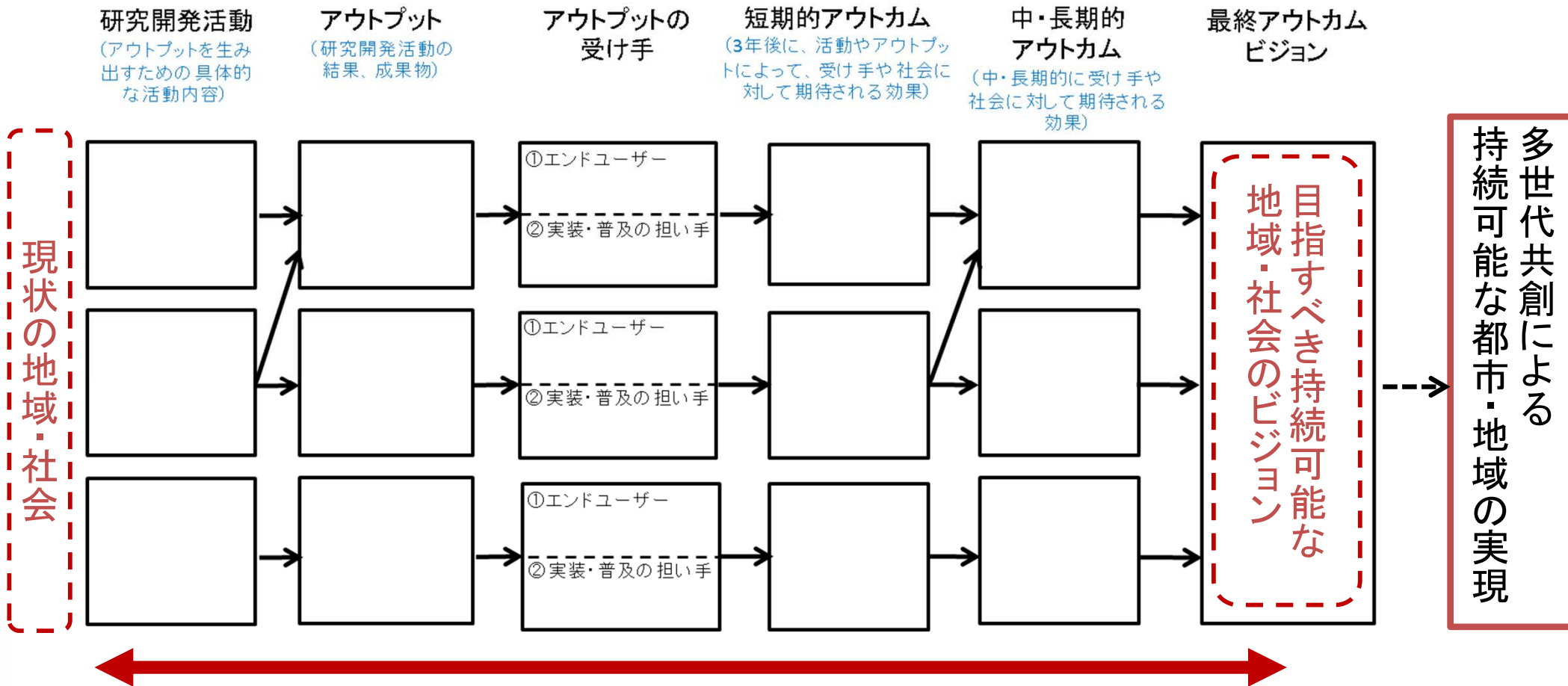
※ 空欄でも構いません。項目名は残したままにしてください。

二次選考について

- 一次選考通過となった提案については、二次選考用の提案書（フルペーパー）を作成いただきます。
 - ✓ 一般枠： p.71-85
 - ✓ 俯瞰・横断枠： p.86- 98
- 本提案の成果の受け手や社会実装の担い手となりうる主要なステークホルダー（自治体、学校、自治会、市民団体、企業等）からのコメントやアピールがある場合：
 - ✓ 期待や協力体制等について、指定の様式にて提出可
- 二次選考用の提案書及び上記の指定の様式は、提案締切り後にRISTEXのWEBサイトに掲載いたします。

参考

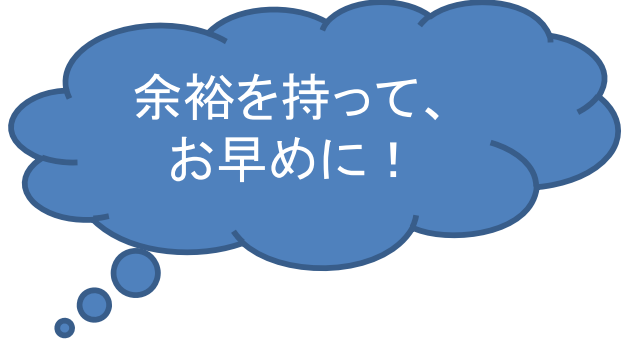
現状課題:



目指すべき地域・社会への移行プロセス
(成果の社会実装・課題解決に向けたストーリー)

最後に

- 誰にでも伝えたいことが分かるよう、簡潔な記載に！
- 「総研究開発費(直接経費)」が、3箇所、合致していますか？
 - 表紙
 - 概要の冒頭
 - e-Rad上の予算合計欄



余裕を持って、
お早めに！

- 応募締切：5月24日(火)正午 <厳守>

(e-Radでの受付期限)

たくさんの応募をお待ちしています。